

そこで、団体のみなさんが拠所にされているビジョンやミッションを主軸に、改めて団体として取り組むべきこと、取り組まないことを検討いただくためのフレームを提供しています。また、「美しい計画」や「見栄えのよい計画」ではなく、「実行するための計画」を作るには、団体のスタッフのみなさんがビジョンやミッション、そのために何を優先的に行うかについて、積極的にコミュニケーションを取っていただくことをお伝えしています。受講後アンケートでは「さっそく計画を作って、スタッフと話をしてみたい」、「計画を作るところから、スタッフの意見を聞いてみたい」といった感想も寄せていただいております。

(3)プレゼンテーションのブラッシュアップ『90分間プロボノ体験』

「学んだことを実践してみたいが、もう少し自信が欲しい」との受講者アンケートの声をもとに、2019年度から前述のプレゼン講座と次年度の「企業ボランティア・プロジェクト」選考会でのプレゼンの間に、弊社社員によるプレゼンテーションのブラッシュアップの場を提供させていただいております。

「企業ボランティア・プロジェクト」には、毎年3団体が選ばれ、企業ボランティアと一緒に理解者・支援者の拡大に取り組みます。活動助成金40万円が提供されるとともに、TVACが企業ボランティアとのマッチングをし、両者の協働をサポートしています。この選考会には、多くの企業関係者が審査員ボランティアとして参加します。

昨年度は、書類選考を通り、この選考会でプレゼンできる4団体に弊社に来ていただき、弊社の社員が3～4名ずつチームになり、「企業ボランティア・プロジェクト」の獲得を目指して、その団体の活動のアピールポイントや、発表スライドの順番の再整理等をお手伝いさせていただきました。このブラッシュアップの場は、弊社社員にとっても、「90分間プロボノ体験」となり、社会貢献の入口として支持されています。



■活用されている企業のリソースや従業員のアイデア:

『ビジネス基礎講座』の2つの講座については、部長クラスが講師として関わるだけでなく、講座の設計にも関わり、社員ボランティアは本業の研修設計のノウハウ等を活用。講座当日の場所は、本社セミナールームを提供させていただいております。

また、プレゼンのブラッシュアップは、2018年度に「企業ボランティア・プロジェクト」に参加した弊社社員から、「プレゼンテーションのフィードバックに関わることは、フィードバックを文化とするリクルートらしい取り組みにもなるだろうし、市民活動をされているみなさんの活動意義を知る大変貴重な機会になるのではないか」といった提案がありました。TVACにご相談したところ、団体のみなさんにとっても、弊社社員にとっても、互いにWin-Winの関係で実施ができる機会として、実施させていただくことができました。

■活動を通じて得られた成果:

4年間の『ビジネス基礎講座』の2講座には、延べ146団体、162名に受講していただきました。受講団体に、その活用状況についてヒアリングもさせていただきました。「計画による組織運営講座」で学んだフレームに基づいて団体の事業計画を設定し、さらに各部門の計画策定にも展開されているところや、団体の計画を改めてフレームに落とし込んだ結果、行政からの支援獲得にまず取り組むべきであると明確になったところもありました。みなさんの組織運営の基盤強化や自走にむけた力強い動き出しを改めて感じております。

また、2019年度に行いましたプレゼンのブラッシュアップにご参加いただいた団体のうち、2団体が、『企業ボランティア・プロジェクト』の機会を獲得され、いずれの団体も、企業各社とのコラボレーションにより、素晴らしい活動につながっています。